

第47回全国育樹祭宿泊輸送等計画策定業務業務詳細

業務内容は以下1～11のとおりとする。

1 受託者における実施体制の検討および設計（令和5年度、令和6年度）

- (1) 組織体制の検討および設計
- (2) 人員配置計画（準備、実施段階における各人員の配置、役割等）の策定
- (3) 開催までの業務スケジュールの策定
- (4) 身体障がい者等への対応計画の策定

2 名簿管理・案内状および招待状作成計画

- (1) 名簿管理システムの運用準備
 - ア 県内外参加者の出欠状況を効率的に管理できるシステムの運用方法の検討および設計
 - ※システムの運用方法の検討および設計に当たっては、既存システムの改修や汎用製品の最適な組合せによるコストパフォーマンスを考慮すること
 - イ 宿泊施設、貸切バス、会場等での受付方法（名簿との照合方法）の検討および設計
- (2) 管理体制（入力・発送業務の人員配置、変更発生時の対応等）の検討および設計
- (3) 個人情報保護対策の検討および設計
- (4) 上記（1）から（3）までを組み込んだ名簿管理・案内状および招待状作成計画の策定

3 宿泊計画の策定

(1) 宿泊施設の仮確保

式典行事前日の宿泊施設について、以下の宿泊施設の仮確保を行うこと。

参加者区分	対象人数	宿泊施設	宿泊形態
県外参加者	1,500人	福井市内の宿泊施設またはサンドーム福井への輸送に適した宿泊施設	一人部屋または定員内利用

- ※1 開催候補日については、契約後、別途連絡する。
- ※2 宿泊者数は概数である（男女別、喫煙数は未定）。
- ※3 原則として1泊朝食付または1泊2食付きで予約できるようにすること。
- ※4 宿泊施設のグレードにより2区分設定すること（上級区分50人程度、一般区分1,450人程度）。

※5 適切な受付・案内体制（集中管理体制を含む）およびバス輸送等を考慮すること。

(2) 受付・案内体制の検討および設計（集中管理体制も含む）

(3) 宿泊施設ごとの大型バス発着スペース、乗降場所等の確認

※式典当日のスムーズな出発のため、宿泊施設ごとに大型バスの待機場所、乗車場所等を確認し、整理すること。原則として、宿泊施設敷地内または近隣の大型駐車場等で参加者がバスに乗車すること。

(4) 緊急時の対策（事故、災害、感染症流行等）の検討および設計

(5) 上記（1）から（4）までを組み込んだ宿泊計画の策定

4 輸送計画の策定

(1) 貸切バスおよびハイヤーの仮確保

(2) 運行計画の策定

次の事項について、効率的かつ効果的な輸送ルートおよびスケジュールを設計すること。

ア 式典行事

(ア) 開催時期 令和6年秋期（開催日の発表は令和6年1月頃）

(イ) 開催場所 サンドーム福井（越前市瓜生町5-1-1）

(ウ) 輸送対象者 約5,000人（VIP、県内外参加者、スタッフ、緑の少年団、出演者等）

※VIPとして、参議院議長、国土緑化推進機構理事長、農林水産大臣等を想定。

イ お手入れ行事

(ア) 開催時期 式典行事の前日

(イ) 開催場所 一乗谷朝倉氏遺跡（福井市城戸ノ内町）

(ウ) 輸送対象者 ハイヤー輸送 約50人（VIP）

貸切バス輸送 約150人（参加者、スタッフ等）

ウ レセプション

(ア) 開催時期 式典行事の前日

(イ) 開催場所 福井市内ホテルを予定

(ウ) 輸送対象者 ハイヤー輸送 約50人（VIP）

貸切バス輸送 約250人（参加等）

エ 育林交流集会（併催行事）

(ア) 開催時期 式典行事の前日

(イ) 開催場所 福井県内で開催を予定

(ウ) 輸送対象者 貸切バス輸送 約500人（来賓者、参加者等）

- オ 全国緑の少年団活動発表大会および交流集会（併催行事）
- （ア）開催時期 式典行事の前日
 - （イ）開催場所 福井県内で開催を予定
 - （ウ）輸送対象者 貸切バス輸送 約700人（緑の少年団、来賓者、参加者等）
- カ 森林・林業・環境機械展示実演会（記念行事）
- （ア）開催時期 式典行事当日および翌日
 - （イ）開催場所 福井県内で開催を予定
 - （ウ）輸送対象者 シャトルバス輸送 約17,000人（参加者）
貸切バス輸送 約50人（スタッフ等）
- キ リハーサル（次のほか、必要に応じて追加する場合がある。）
- （ア）総合リハーサル（お手入れ）
 - a 開催時期 式典行事の約1～2ヶ月前
 - b 開催場所 お手入れ会場
 - c 輸送対象者 貸切バス輸送 約150人
 - （イ）総合リハーサル（式典）
 - a 開催時期 式典行事の約1～2ヶ月前
 - b 開催場所 式典会場
 - c 輸送対象者 貸切バス輸送 約500人
 - （ウ）お手入れリハーサル
 - a 開催時期 お手入れ行事の約1週間前
 - b 開催場所 お手入れ会場
 - c 輸送対象者 貸切バス輸送 約150人
 - （エ）式典リハーサル
 - a 開催時期 式典行事の約1週間前
 - b 開催場所 式典会場
 - c 輸送対象者 貸切バス輸送 約1,500人
 - （オ）お手入れ前日リハーサル
 - a 開催時期 お手入れ行事の前日
 - b 開催場所 お手入れ会場
 - c 輸送対象者 貸切バス輸送 約150人
 - （カ）式典前日リハーサル
 - a 開催時期 式典前日
 - b 開催場所 式典会場
 - c 輸送対象者 貸切バス輸送 約1,500人

(3) 運行管理方法の検討および設計

各輸送について、第47回全国育樹祭福井県実行委員会事務局（以下、「事務局」という。）や関係者と調整の上、次の事項について検討を行い、計画を策定すること。

ア 管理体制（配置人員、連絡体制）

イ 輸送経路、乗降地点、距離、時間の設定や所要時間等の管理（遅延した場合の対策等）

ウ 誘導・駐車計画（車両動線、乗降計画、管理体制、警備員等の誘導人員の配置計画）

エ 参加区分別（VIP、県内外参加者、身体障がい者、出演者、スタッフ等）の動線（降車から入場、退場から乗車）

※公共交通機関を使用する日帰り参加者（県内参加者）についても、誘導計画および動線等を検討すること。

オ 交通標識のデザイン、誘導・案内、入場規制看板等の配置

カ 交通規制計画

(4) 危機管理計画の策定

危機管理計画（事故や災害の発生等、緊急時の対応）を策定すること。

※事故が発生した場合の補償等の対策を含む。

(5) 輸送計画の策定における留意事項

ア 各会場の駐車場で対応しきれない場合は、必要に応じて他の駐車場を提案すること。

イ VIPについては、ハイヤーによる輸送とすること。

ウ ハイヤー以外による輸送は、大型バス（貸切）を基本とする。なお、「貸切バス事業者安全性評価認定制度」の認定を受けた事業者のバスを使用することが望ましい。

エ 式典行事では、入場時の混雑を回避するため、参加者の区分やバス毎に段階的な入場時間を設定する予定。

オ 大型バス（貸切）等には、車載無線またはこれに代わる設備を備えるなど、運行管理および緊急時の連絡体制を確保すること。

カ 実走調査等により、各会場と各集合場所などの間の所要時間および混雑状況等を把握すること。なお、調査を行う際は、運転手の他に福井県内の道路事情等に精通したバス事業者の社員を同行させること。

キ 輸送計画策定に当たっては、輸送のスケジュール管理、車両の運行および参加者の乗降において、安全に十分配慮し、高速道路が通行止めになる場合などを想定した代替ルートを検討すること。

(6) 上記(1)から(5)までを組み込んだ輸送計画の策定

5 弁当計画の策定

(1) 調達計画の策定

ア リハーサル分（次のほか、必要に応じて追加する場合がある。） 弁当は 1人あたり約600円（税込）を予定している。

（ア）総合リハーサル（お手入れ） 約150食

（イ）総合リハーサル（式典） 約500食

（ウ）お手入れリハーサル 約150食

（エ）式典リハーサル 約1,500食

（オ）お手入れ前日リハーサル 約150食

（カ）式典前日リハーサル 約1,500食

イ 式典行事 約5,000食

弁当は1人あたり約1,000円（税込）を予定している。

ウ 全国緑の少年団活動発表大会（併催行事） 約500食

弁当は1人あたり約600円（税込）を予定している。

エ 森林・林業・環境機械展実演会（記念行事） 約100食（2日間）

弁当は1人あたり約600円（税込）を予定している。

(2) 配布・回収計画（運搬方法、配送ルート、保管方法、ゴミ回収方法、環境への配慮等）の策定

(3) 食中毒予防対策の策定

(4) 弁当計画の策定における留意事項

ア 式典行事で提供する弁当

（ア）献立案は、別途発注者が指示する。なお、献立案の検討に当たっては、事務局による試食の機会を2回程度設けること。

（イ）容器、包装および箸等の付属品を含む1食あたりの単価を積算すること。

イ 1人あたりの単価には、飲み物、運搬およびゴミ回収等の経費を含むこと。

(5) 上記(1)から(4)までを組み込んだ弁当計画の策定

6 記念品等配布計画の策定

式典参加者へ配布する大会用品や参加者記念品について、県産品を使用した内容を検討、提案するとともに配布計画を策定すること。

7 視察計画の策定

(1) 視察コース（行程・料金・参加人数・募集方法等）の設計

ア 視察のコース内容は、福井県の自然や歴史・文化を紹介するとともに、県内の物産等のPRや観光地等の特色を活用し、再度の来県を期待できるものとする。

イ コースごとに見どころ、テーマ等を明確に設定し、全国育樹祭参加のインセンティブとなり、アピール度が高く、かつ、リーズナブルなコースとなるように工夫すること。

(2) 緊急時の対策（事故、災害、感染症流行等）の検討および設計

(3) 視察計画の策定における留意事項

ア 視察代金は参加者の負担とする。

イ 視察コースについては、宿泊の有無および複数案の設計について検討すること。

(4) 上記（1）から（3）までを組み込んだ視察計画の策定

8 料金徴収計画の策定

宿泊施設を利用する参加者および視察参加者からの料金徴収・精算事務を行う体制を検討および設計し、料金徴収計画を策定すること。

9 必要経費の積算（令和5年度、令和6年度）

必要となる経費の積算を行うこと。

10 宿泊輸送等計画書の作成

(1) 上記1から8までを取りまとめた宿泊輸送等計画書の作成

(2) 計画書の中間報告（令和5年9月末日）

11 成果品の提出

(1) 宿泊輸送等計画書（電子データ）

電子データの作成は、Word、Excel、PowerPointを使用すること。

なお、上記以外の特定のアプリケーションに依存するデータの作成については、別途事務局と協議の上、承認を受けること。

(2) 提出先

第47回全国育樹祭福井県実行委員会事務局

(福井県農林水産部森づくり課全国育樹祭推進室内)